

会議議事録

委員会	平成29年度 教育課程編成委員会
学校名	東洋Fデザイン専門学校
会議名	第4回 教育課程編成委員会
開催日時	平成29年9月26日(火) 18:00~19:30
場所	東洋Fデザイン専門学校 イベントホール
出席者	<p>◇委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉木 学 (協同組合新大阪センシティィー 理事長) ・玉井 純子 (ボン・シャルル株式会社 営業部長) ・藤本 光栄子 (fashionstudio Mieko Style 代表) ・中江 暢一 (BIG MOUTH REFORM manager) ・小寺 克一 (東洋Fデザイン専門学校 学校長) <p>事務担当者</p> <p>説明者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中林 大吉 (東洋Fデザイン専門学校 副校長補) <p>司会進行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幾島 淳夫 (東洋Fデザイン専門学校 教員) <p>書記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲田 和代 梅原 栄利子 (東洋Fデザイン専門学校 教員)

<p>議案</p>	<p>議事 ◇資料説明</p> <p>協議 I</p> <p>①今年度のカリキュラムについて ②具体的に科目内容を改善するポイント ③意見交換</p>
<p>内容</p>	<p>・ 学校長挨拶 お忙しい中、本校の育成に多々お力を頂き誠に有難うございます。 昨年頂いた意見を参考にして、新たにカリキュラムに繁栄いたしました。 今回はまた、次のカリキュラムについて、貴重な御意見を頂きたくいと 思っております</p> <p>議事</p> <p>[中林] 資料説明 ・ 学年別 時間割 (別紙参照) ・ 自己点検評価関連資料 (部外秘でお願いします) ・ H29年度ファッションクリエイターコースカリキュラム内容 昨年のご指摘を踏まえたカリキュラムになっております 〈例〉 1年生パターン ・ ダーツ移動・ダーツ分散などのより一層深い授業 ・ 服飾専門用語に外国語を併用してみる。中国語・英語の専門用語の辞書購入 〈例〉 WEB授業のより充実 ・ 基本的な事ではありますが、イラストレーターやCGを使用 今の時代にあったカリキュラムを組み立てる努力をしていきたいと思います。 ・ H27、H28就職希望者は、全員就職しております。 ・ 外部コンテストは別紙の通りです。 ・ 検定対策授業の成果は上がっておりますが、なかなか覚える事の苦手な学生の 指導が、これからの課題です。 今年度の取り組み及び資料の説明は以上です。</p> <p>[中林] 私の意見ですが、卒業生の就職は縫製がほとんどです。 デザイナー・パタンナーの求人も少しは関西にもあるのですが、学生は物作りの 就職希望が多いのが現状です。学校という所は作業ばかりでは駄目だし、色々な 事をしなければならない事が多くあります。学校の限りある時間でどの様に集中 していけば世の中が求める人材育成が出来るのか、又どの様なバランスで取り組 ます必要があるのでしょうか。</p> <p>[幾島] 世の中の動きは目まぐるしく変化していき、一時期縫製工場が日本に戻ってくる のでは、という流れも出ましたがやはり世界の動きは外に出て行ったものは戻って これない。又、戻って来たものは納期と値段に厳しい。基本的には日本で物を作る 意識はあるが、現実の中々そうは旨くいきません。その現状の中、縫製という仕事</p>

又、世の中の流れが昨年と変わってきたかなという感覚や、今改めてこんな匂いがしてきていると感じる事がありますか。

[藤本]

日本製と名記しているタグが付いている物が中国の方には売られています。

[幾島]

実際に日本製の規模としてはどれくらいのものなのですか。

[小寺]

かなり大きな話なので答えにくいのでは、吉木様いかがですか。

[吉木]

95%が輸入もの、5%が日本物ですかね。

今の話は、インバウンドの話が多いですね。

私の店では、カシミヤのセーター2社が廃業、倒産されました。

1社は毎年売り上げを伸ばしていた会社ですが、それくらい日本生産は

厳しいです。メイドインジャパンと使われている言葉が海外の方だけでなく

日本の方にも信用の基準になっている。

それぞれの会社、学校の特に専門学校のこの「こだわり」の部分を特化しないと

生き残れないのでは。他校との違いをアピールしないといけないのではないで

しょうか。人に言われたからと言って、これも有ります、あれも有ります、

としては負けてしまうのではないのでしょうか。そして、学校教育となれば、

やはり人間教育としては必要です。専門学校の特化ということであれば、

切り捨てる事も必要なのでは。

[小寺]

東洋学園としてのブランドとは何か。教育方針では、かつて真面目でコツコツ。

しかし、今の時代ではそうはいかないのでは、ひらめきをネットで見る時代です。

そのひらめきの中に有る物は何か。何を創り出すのか。

[幾島]

意見をまとめてみますと、「特化している事

専門学校で、何かを切り捨てて特化している学校はあるのでしょうか。

[吉木]

そもそも、専門学校は特化している学校なのではないですか。

[小寺]

学校のブランド化がとわれる時代、学校のカラーを育てていく時代であると思います

中学・高校、そして家庭で現在、人間教育、家庭教育が不足している様に思います

単に力だけでなく人間としての成長を取り組んで来たのが東洋学園です。

これからも、皆様のご意見を参考にして、次のステップに進んで行きたいと

思います。お忙しい中遅くまで有難う御座います。